

香取市教育委員会会議録

令和7年12月定例会議

- 1 期 日 令和7年12月25日(木) 開会 午後2時
閉会 午後2時25分

- 2 場 所 香取市役所5階 504会議室

- 3 出席委員 教育長 堀 越 洋
教育長職務代理者 伊 藤 博 和
教育委員 芦 田 優 子
教育委員 鳥 次 由紀子
教育委員 増 田 進 一

- 4 傍聴者 なし

- 5 出席職員 教育次長 本 官 茂 幸
教育総務課長 石 橋 敏 幸
学校教育課長 高 橋 進
生涯学習課長 福 代 宏
生涯学習課副参事 菅 生 和 代
香取市学校給食センター所長 林 千 鶴
教育総務課教育総務班長 大八木 奈津子

- 6 開会宣言 堀越 教育長

- 7 会議録署名人の指名 伊藤 委員 芦田 委員

- 8 前回会議録の承認 令和7年11月定例会議録を承認

9 教育長報告

12月の教育長公務報告について、主な内容を抜粋して報告させていただきます。

12月1日 北総教育事務所指導室訪問

小見川西小学校において、本年度最後となる指導室訪問が実施され、参加してまいりました。

指導室訪問は、学校経営の根幹をなす、教員一人一人の授業力向上を目的として行われるものです。

教員の授業力向上は、子どもたちが変化の激しい時代を生き抜くために必要な資質・能力の育成に繋がってまいります。また、日々の授業は、知識や技能を身に付ける場であると同時に、子どもたちの人間形成の場でもあります。

当日の授業の様子では、指導者（教員）が子どもたちの反応を丁寧に見取りながら、意欲や考えを引き出す授業が展開されており、子どもたちが集中して課題に取り組む様子が見られました。

その後の協議では、指導主事から一人一人の教員に対して指導案（授業の企画書）の構成や発問（子どもたちへの問いかけ）の工夫、ICTの効果的な活用などについて具体的な助言があり、今後の授業改善につながる有意義な研修となりました。

12月2日 香取市教頭会第3回全体研修会

佐原中学校に市内の教頭が一堂に会し、分科会ごとに研修を行いました。

その冒頭のあいさつで、次の二つの点について話をいたしました。一つ目は、千葉県教育委員会が不祥事防止、特に性暴力防止に関する有識者会議を立ち上げたことを踏まえ、本市では不祥事は発生していないものの、決して他人事とすることなく、日常的に細やかな目配りを行い、不祥事根絶に向けた取組を徹底していく必要があるということをお話しました。二つ目は、校内研修や研究を通して教職員自らが成長し、より良い授業を追求する姿こそが、子どもたちと共に成長する教師の姿につながる、ということをお伝えしました。

11月25日～12月12日 令和7年12月市議会定例会

11月25日から12月12日までの日程で開催され、一般質問や各常任委員会、全員協議会において、教育委員会に関するさまざまな質問が行われました。

歴史的伝承芸能の継承や伊能忠敬の世界記憶遺産への登録、学校図書館の充実、学校施設の管理、佐原中央図書館の指定管理、部活動の地域移行など多岐にわたる内容について、教育委員会として丁寧に答弁・説明を行いました。

12月9日 部活動地域移行検討委員会

市内のスポーツ団体、文化団体、教職員、保護者の代表が出席し、次年度の事業計画や地域クラブの規約について協議が行われました。

現在、香取市では9つの地域クラブが活動しており、指導者登録者数も着実に増加しています。11月には宮城県栗原市議会が香取市を先進事例として行政視察に訪れました。

国の次年度概算要求においても、指導者への謝金や支援策の充実が示されるなど、部活動の地域移行は着実に進んでいます。

今後も、「将来にわたり、子どもたちがスポーツや文化芸術活動に親しめる環境づくり」という理念を大切にしながら、取組を進めてまいります。

12月14日 第17回香取小江戸マラソン大会

小江戸マラソンについては、生涯学習課より後ほど詳しい報告をさせていただきます。

12月21日 第32回クリスマスコンサート

山田公民館において、小見川中学校合唱部、山田中学校吹奏楽部、小見川吹奏楽団による演奏が披露され、世代を超えた非常に温かな交流の場となりました。

12月24日 女性模擬議会

教育委員会へは、学校施設の整備や小中学校の適正配置について、質問があり、貴重なご意見をいただきました。

以上、12月の教育長公務報告の概要でございます。

10 議決事項

議案第1号

香取市教育委員会表彰被表彰者の決定について

教育長

議案第1号「香取市教育委員会表彰被表彰者の決定について」、事務局から提案理由説明をお願いいたします。

教育総務課長

議案第1号「香取市教育委員会表彰被表彰者の決定について」ご説明いたします。

議案書の4ページから7ページが、12月11日に行われた香取市教育委員会表彰審査委員会の審議を経て決定した候補者一覧となります。教育委員会表彰は教育の振興を図るため、香取市教育委員会表彰規程、香取市教育委員会表彰実施要領、香取市教育委員会感謝状贈呈に関する実施要領に基づき、毎年、教育文化やスポーツの分野で特に優秀な成績を収めた個人・団体、また、長年に渡り教育の振興について功績が顕著であった個人・団体の表彰を行っているものであります。

今年度の候補者を順にご説明いたします。なお、候補者名、大会名及びコンクール名、成績等については資料に記載のとおりでありますので、個々の読み上げは、省略をさせていただきます。また、候補者の作品は別紙にまとめてありますので合わせてご覧ください。

それでは4ページをご覧ください。市長特別表彰です。最初に教育文化の部でございます。表彰の基準は、世界規模のコンクール等での入賞者及び全国規模のコンクール等での1位相当の賞の受賞者が対象になります。候補者は個人2名でございます。続いてスポーツの部でございます。表彰の基準はアジア大会や世界選手権、オリンピックの出場者、全国規模の大会での優勝者が対象になります。候補者は個人3名と1団体でございます。

続いて5ページ、教育委員会表彰です。最初に、教育・文化の部でございます。こちらの基準は全国規模のコンクールでの特別賞の受賞者及び県規模のコンクールでの1位相当の賞の受賞者が対象になります。候補者は個人6名でございます。

教育総務課長 続いて、スポーツの部です。基準は全国規模の大会での2位、3位入賞者、及び県大会、関東大会での優勝者です。候補者は個人6名と5団体でございます。

続いて6ページ、奨励賞です。最初に、教育・文化の部でございます。基準は県規模のコンクール等での特別賞の受賞者となります。候補者は個人11名と1団体でございます。続いて、6ページ下段から7ページ上段、スポーツの部でございます。基準は県大会、関東大会での2位、3位入賞者となります。候補者は個人5名と2団体でございます。

続いて、7ページ中段、功労の部でございます。基準は概ね10年以上に渡り継続して、教育文化・スポーツの振興に尽力した個人及び団体が対象です。候補者は1名で、多年にわたるスポーツ少年団での活動に対する功績です。

続いて、7ページ下段、感謝状の贈呈でございます。基準は教育、学術文化、スポーツ等の分野での教育行政への協力や教育施設等の整備・充実について、その功績が著しいことなどが該当します。候補者は1名で、多年にわたる小見川中学校での除草等の環境整備への協力に対する功績です。

説明は以上でございます。

教育長 只今、提案理由の説明は終わりました。それでは、議案第1号につきまして、質疑に入りたいと思います。質問等ございますでしょうか。

委員・意見 表彰規定が明確なので、漏れがない限りこれで良いかと思えます。調査も大変だったかと思えます。

教育長 事前に作品等の資料をお配りしてありますが、質問・ご要望等ございますか。

委員・意見 質問ではないのですが、実際にこのように作品を見せていただいて、本当に良かったと思えます。作文などを読ませてもらっても、子供たちの本当に真っすぐな、純粋な気持ちというものが伝わり、非常に良かったので、これだけの資料を集めるのは大変だったと思えますが、また次回もぜひ、このように用意していただけるとありがたいです。

教育長 ご意見ありがとうございました。他に質問等ございませんか。

委員 ありません。

教育長 それでは採決に入りますが、よろしいでしょうか。議案第1号「香取市教育委員会表彰被表彰者の決定について」、採決します。被表彰者は多数おりますが、一括採決でよろしいでしょうか。

委員 異議なし

